

参議院議員選挙必勝決議（案）

昨年の第43回衆議院議員選挙においては、悪政を続ける小泉連立政権を打倒し、政権交代を目指す連合の全国的な取り組みと連動し、我々連合愛媛においても愛媛4選挙区4名の推薦候補者全員の必勝を目指し、構成組織・地協を中心に懸命に闘った。しかし、民主党愛媛県連の候補者擁立の遅れと、全候補者が新人という知名度の低さ、また短期間での選挙戦への取り組みなど、厳しい情勢の中で懸命の運動を展開したものの、残念ながら保守王国愛媛の牙城を崩すまでには至らなかった。ただ、比例区選挙においては、2市1町で民主党票が自民党を上回り、多くの市町村で肉薄する好結果となった。これにより、愛媛県全体でも20万票を超える民主党票を獲得し、愛媛における展望を切り拓くと共に、四国ブロックでの1議席増加に結びつけることが出来た。

これらのことを踏まえ、更には度重なる社会保障制度の改悪と経済政策の失敗等、極めつけは年金改悪問題・自衛隊イラク派遣問題に至っては、小泉連立内閣の無能ぶりや悪政が顕著に露呈されており、来る7月11日執行予定の第20回参議院議員選挙愛媛選挙区においては、我々勤労者の要求実現可能な政治家を是が非でも国政の場に送り出さねばならない。連合愛媛では、4月26日の緊急執行委員会で民主党公認 さいとう まさみつ 政光予定候補の推薦を全会一致で決定した。さいとう まさみつ 政光予定候補必勝に向け、民主党愛媛県連との連携により連合愛媛の万全の選挙体制を確立し、組織力を結集した十二分の選挙活動を展開するものである。

更に、比例代表選挙においては、各産別組織内候補者全員の必勝に向けて、連合愛媛の結束・連携により、当選を目指す。

以上、決議する。

2004年 4月29日

第75回愛媛中央メーデー大会